

# 冬に気をつけるべき疾患

冬は寒さや乾燥などの影響で、様々な疾患が発生しやすくなります。ここでは、冬に気をつけたい疾患とその対処法について解説します。

## 脳卒中・心筋梗塞

脳卒中や心筋梗塞は、冬に特に注意したい疾患です。気温が低下すると、血管が収縮して血流が悪くなるため、脳梗塞や心筋梗塞のリスクが高まります。

**【症状】**脳梗塞の主な症状は、突然の発作、手足の麻痺、言語障害、意識障害などです。心筋梗塞の主な症状は、胸痛、息切れ、冷汗、吐き気などです。

**【対処法】**脳卒中や心筋梗塞は、早期治療が重要です。発症したと思ったら、すぐに救急車を呼びましょう。



## 一酸化炭素中毒

一酸化炭素中毒は、不完全燃焼によって発生する一酸化炭素を吸い込んで起こる中毒です。冬は、ストーブやボイラーなどの使用が増えるため、一酸化炭素中毒のリスクが高まります。

**【症状】**一酸化炭素中毒の症状は、頭痛、吐き気、倦怠感、意識障害などです。

**【対処法】**一酸化炭素中毒を発症した場合は、すぐに換気を行い、新鮮な空気を吸いましょう。また、救急車を呼び、適切な治療を受けることが大切です。



## 呼吸器系感染症

冬は、乾燥や寒さなどの影響で、風邪やインフルエンザなどの呼吸器系感染症にかかりやすくなります。

**【症状】**風邪やインフルエンザの主な症状は、発熱、咳、鼻水、のどの痛みなどです。

**【対処法】**風邪やインフルエンザにかかった場合は、安静に休み、十分な水分や栄養を摂取しましょう。また、症状がひどい場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



## やけど

冬は、鍋やフライパンの取っ手などの熱に触れてやけどをするリスクが高まります。また、ストーブやヒーターなどの暖房器具によるやけどにも注意が必要です。

**【症状】**やけどの症状は、痛み、赤み、腫れなどです。

**【対処法】**やけどをした場合、すぐに冷水で患部を冷やしましょう。また、やけどの程度がひどい場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



## 低温やけど

低温やけどとは、44℃～50℃前後の熱源に皮膚が直接、数分～数時間にわたって触れ続けることで起こるやけどです。熱湯や火などに触れて起こる「高温やけど」よりも低い温度のやけどです。低温やけどの原因としては、次のようなものがあります。湯たんぽ、電気あんか、電気毛布、こたつ、使い捨てカイロ。

**【症状】**皮膚の赤み、ヒリヒリ感、水ぶくれ、皮膚がただれる

**【対処法】**低温やけどを負ったら、すぐに水道水をかけて冷やす応急処置を行います。患部を冷やす際は、氷水を用いると凍傷のリスクが生じるため注意しましょう。



## ヒートショック

ヒートショックは、急激な温度差によって血圧が大きく変動し、心臓や血管に負担がかかった状態のことをいいます。軽度な症状であれば立ちくらみ程度で少し休むと回復しますが、重度になると、心筋梗塞や脳梗塞、大動脈解離など、命にかかわる病気を発症します。

**【症状】**めまい、立ちくらみ、頭痛、吐き気、失神、意識障害、呼吸困難、胸の痛み。

**【対処法 / 軽度な症状の場合】**無理に立ち上らず、姿勢を低くして、気分が落ち着くまでじっと待ちましょう。水分や塩分を摂取しましょう。暖房器具で体を温めましょう。

**【対処法 / 重度な症状の場合】**救急車を呼びましょう。



ヒートショックは、冬に起こりやすいイメージがありますが、夏でも起こる可能性があります。冬は暖房器具の使用によって室内と室外の温度差が大きくなるため、注意が必要です。また、夏は冷房器具の使用によって汗をかき、脱衣所や浴室で急激に温度が下がると、ヒートショックを引き起こす可能性があります。ヒートショックの症状が出た場合は、無理をせずに早めに対処するようにしましょう。

冬は、感染症や環境による疾患に注意が必要です。手洗い、うがいなどの予防対策をしっかりと行い、健康で元氣な冬を過ごしましょう。



## 編集後記

1年で最も街が華やかに彩られるクリスマスシーズンが到来しました。イルミネーションで彩られた街を歩くだけで楽しい気持ちになる大好きな季節です。さて、2023年も残りわずかとなりました。そこで僭越ながら私の今年の重大ニュースを発表させていただきます。それは免許を取って数十年、初めて高速道路を運転したことです。スピードに対する恐怖心がとても強いので80kmくらい出しただけで、手にありえないほど汗をかき自分でもびっくりました。その後、何回か運転し、だんだん慣れてきたのですが、まだまだです。来年はもっと落ち着いて運転できるよう精進したいと思います。 医局秘書 伊藤 恵

# えぼしめ〜る vol.28



CHIGASAKI  
医師紹介  
TOKUSHUKAI

## 新着任ドクター

みぶくら ようすけ  
医長 壬生倉 洋介

所属学会 日本救急医学会



この度は、茅ヶ崎徳洲会病院に着任し、ご挨拶申し上げます。ドイツに留学していたため、まだ少し会話ができます。音楽、歴史、読書、美しい風景がとても好きです。娘のお弁当を作るのもとても楽しんでます。学生時代はずっと陸上競技に没頭していました。付近で毎年の箱根駅伝を応援しています。患者様の訴えを納得行く迄深くお聞きして、入念に診察することを欠かしておらず、これからもしっかりと継続して参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 患者相談室のご案内

※相談で知りえた秘密は厳守いたします。  
※相談を希望される場合には、主治医・看護師・もしくは受付スタッフにお申し出ください。

- 病気やけがをすると、治療のことだけでなく経済的なこと、介護のことなど生活全般に問題を抱えることが少なくありません。当院では、患者様が安心して医療を受けられるように患者様やご家族様からの様々な相談をお受けしています。
- 病院の費用負担が心配(経済的問題)
- 先生から介護保険の利用を勧められた(社会制度の利用)
- 退院の許可が出たけれどすぐに自宅で生活するのは不安がある(退院支援)
- 病院や施設について知りたい(転院・施設入所支援)
- その他受診・入院・退院等で困っていることがある



以上のような相談について社会福祉の立場から 専門の医療ソーシャルワーカーがお話をうかがいます。



Emergency Room  
doctor

茅ヶ崎徳洲会病院のERでは、

24時間365日の

救急医療体制をとっています

泌尿器科部・ER部長

能勢 頼人  
Nose Yorito



## ERとはどのような診療科ですか？

ERはEmergency Roomの略で、救急室、あるいは救急外来のことを指します。

救急車の受け入れのほか、発熱や怪我などの患者様も含め、休日や夜間を問わず24時間365日、救急患者様に対応する医療スタッフと設備が整った診療科となります。

## ERではどのような症状、疾患を診療していますか？

ERでは1日で平均40人くらいの患者様を診療しています。現在も発熱の患者様が多く、コロナ以降の発熱トリ

アージに伴い、37.5度以上の熱がある患者様を診療する機会が増えてきています。

他には、外傷、呼吸苦、腹痛、脱力、頭痛、熱中症などの症状で来院される患者様の診療も行っています。

また、当院がある茅ヶ崎は場所柄、サーフィンを嗜む方も多く、サーフボードなどによる裂傷などで搬送される方も多くいます。

近所にお住まいの方で体調の急変などを感じましたら、我慢をせず当院にお越しいただけたらと思います。

## 当院のERの特色について教えてください

当院ではERで診察した医師がそのまま患者様の主治医となって診察を続けることが多く、患者様からは高い評価をいただいています。

また、当院は高度救急センターではなく、二次救急となっているため、日中では行える治療でも残念ながら夜間における緊急手術や心疾患によるカテーテル治療などには対応することができません。

こうした場合でも、責任を持って対応可能な病院に引き継ぐ体制を整えていますので、ご安心してお越しただいただければと思います。

## これまでの患者様で印象に残った (大変だった、早期に対処出来て良かった) 出来事について教えてください

泌尿器の緊急疾患の話となりますが、おしっこが出ない尿閉という腹部激痛状態の患者様がよく運ばれてきます。このときは尿道にカテーテルを挿入する治療を施すことによって、速やかに症状を緩和することができました。

またあるときには、気絶するほどの痛みを伴う尿管結石の患者様が救急搬送されてきたことがありました。すぐにCTを取り、診断をつけ、可及的速やかに鎮痛剤を投与することによって速やかに症状を緩和することができます。

こうした七転八倒するような激痛を伴うシチュエーションにおいて、速やかに処置を行い、患者様の症状を和らげることができた瞬間は、いつもホッとすると同時にとても嬉しく清々しい気持ちになります。

苦悶の表情を浮かべていた患者様の顔に素敵な笑顔が広がるよう、今後も全力で患者様の治療にあたっていきたいと思っています。

## 患者様と接する中で、 どのようなことを心掛けていますか

常に患者様の立場に立つことができる医師でありたいと思っています。そのため、待ち時間を少しでも短くするよう意識して診療を行っています。

また、よく耳にする病院への不満のひとつ、診察の順番問題も曖昧にしないように努めています。

緊急を要する重症患者様が搬送されたときなどは、そちらを優先しなくてはなりません。こうしたときでも、お待ちしております患者様にきちんと事情を説明し、理解を求めるよう心掛けています。



## 広報誌をご覧になる 患者様へのメッセージ

茅ヶ崎徳洲会病院のERでは、24時間365日に渡り、地域に根差した患者様ファーストの治療をスタッフ一丸となって志しています。

近隣にお住まいの方で、日中は仕事でいないため、夜にしか来ることができないという方も時間を気にすることなくお越しただいただければと思います。

また、夜中に体調を崩したという方も朝まで我慢する必要はありません。当院にお越しただいただければ、我々スタッフがいつでも皆様の症状を診察、治療させていただきます。

急病・救急の患者様は

365日・24時間

対応しております。

※診療時間外での、  
小児科受診はお問合せください。

